

中学校道徳  
充実拠点校  
事業

## 道徳科の本質に迫る「考え、議論する道徳」の実現のために

～奈義町立奈義中学校「道徳授業ガイダンス」の作成～



奈義中学校では授業づくりのガイダンスを作成し、道徳科を充実させています。各学校でも、まず、教員全員で授業づくりのポイントをおさえましょう。そして、**道徳科の本質に迫る「考え、議論する道徳」**を実現しましょう。

### ☆POINT1 「学習指導要領解説」を熟読し、**ねらいとする内容項目**を理解しましょう。

- ①「解説」の「第3章 道徳科の内容」で、指導する**内容項目**のページを熟読する。
- ②**生徒の実態**に照らして、生徒に深く考えてほしい内容を決める。

〔例〕内容項目C-(11)公正・公平・社会正義 教材『命の大切さ』（日本文教出版）で指導する場合

- ①「解説」を読むと、**偏ったものの見方や考え方を避ける**よう努めることが大切である。と書かれてある。
- ②**生徒の実態**から、潜在的な偏見に気付き、積極的に公平な社会の実現に努めるようになってほしいと考えた。



### ☆POINT2 内容項目を踏まえて教材を読み、**中心場面と中心発問**を考えましょう。

- ①教材を分析する。（場面を分ける。登場人物の心の動きを書きだす。あらすじを確認する。など）
- ②**中心場面**を決め、生徒に気づいてほしいことを整理して書きだす。
- ③**中心発問、**補助発問、**振り返りの発問（ねらいとする価値を再表現させる発問）**を考える。

- 〔例〕
- ②・**中心場面** ⇒主人公の心が、K君の考え方や生き方に影響を受けて変化した場面。
  - ③・**中心発問** ⇒「主人公が考えを変えることができた要因は何だろうか」
  - ・**振り返りの発問** ⇒「差別や偏見のない社会の実現のためにどうしたらいいのだろうか」



### ☆POINT3 「本時のねらい」には、**目的と手段**を明確に設定するようにしましょう。

（～することを通して）～について考え、～に気づき、**手段**  
～しようとする道徳的（心情／判断力／実践意欲と態度）を（高める／育てる／深める）**目的**

〔例〕主人公が考えを変えることができた要因を話し合うことを通して、本当に公平に人に接することについて考え、潜在的な偏見に気づき、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする心情や態度を育てる。

